



おさかな瓦版

No. 60
2014.7

かわ みずうみ だい かい
シリーズ：川や湖のさかなたち 第5回

オイカワ



ふーちゃんのトピックス
けんきゅうしょ あそ ぎ
研究所に遊びに来てね!



にっこう さかなともり かんさつえん
日光 さかなと森の観察園だより
すず もり なか ふ あ
涼しい森の中でさかなと触れ合おう!

オイカワ ~美しい雑魚~

オイカワは、わたしたちにとっても身近な魚です。子どもたちが川で釣ることが多く、川遊びをしたことがある人にはなじみ深い魚です (📷 1)。

オイカワは、西日本を中心とした川の中流から下流や湖にすんでいます。大きくなっても13~15センチくらいです。体は白く輝き、とくにオスは繁殖期にとっても美しい色になります (📷 ワンポイント)。一生を川や湖で過ごし、生まれて2~3年で大人になります。

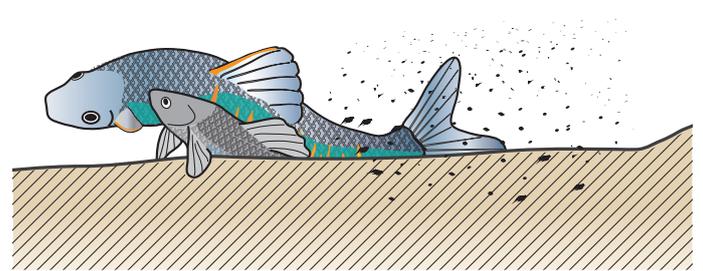
5~8月は繁殖期で、オスとメスがペアとなつて、メスは体をふるわせながら卵を産み、卵は砂や小石の下にうめられます (📷 1)。

冷たい水が苦手な、冬場には水面近くよりも温度が高めの深い所に集まります。これを専門にねらう釣りの名人もいます。冬場のオイカワはとくに美味しく、唐揚げや煮付けにしてもいいですが、白焼きにして酢をつけて食べるのもおいしいです (📷 2)。

水産総合研究センターでは、オイカワの背



📷 1. オイカワのメス



📷 1. オイカワの産卵 (下の小さい方がメス)



あんじいのワンポイントアドバイス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

オイカワのオスはなぜ美しい？

オイカワは、オスが繁殖期になわばりを作り、メスがあるなわばりを訪れて産卵するんじゃ。美しいオスほど多くのメスを引きつけるから、オイカワのオスは輝くような美しい色になるのじゃよ。美しいオスはもてるので、何度も繁殖行動をし、やがてつかれて死んでしまう。そのため、オイカワはオスに比べてメスの方が多いのじゃ。



繁殖期でないときのオイカワのオス



繁殖期のオイカワのオス



📷 2.
オイカワの白焼き
(写真提供：淀 太我氏)



📷 3. ウグイ

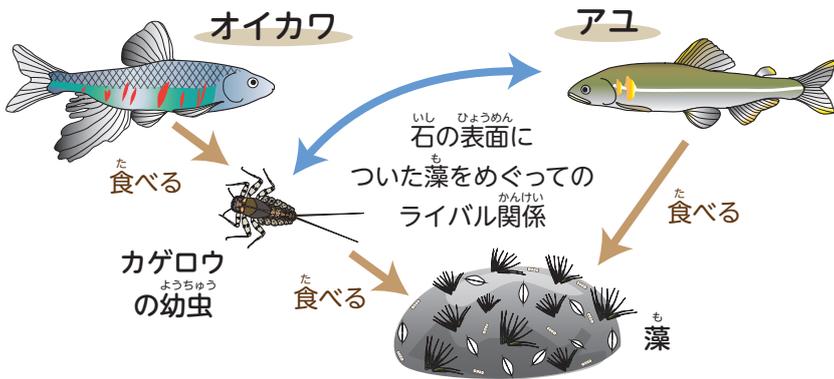


📷 4. カマツカ

中に標識という目印をつけて、その生態を調べています (📷 チェック)。

オイカワは川の中でアユといっしょに生活することが多いのですが、オイカワがいるとアユがよく育つことがわかってきました。オイカワは川の中の藻やカゲロウなどの幼虫を食べています。カゲロウの幼虫は石の表面についた藻をよく食べますが、石についた藻はアユの大好物でもあります。そのため、オイカワがカゲロウの幼虫を食べることによって、

ライバルのいなくなったアユは藻をたくさん食べられるようになり、よく育つのです (📷 2)。同じようにアユの成長を助けるはたらきは、ウグイ (📷 3) やカマツカ (📷 4) など



📷 2. オイカワとアユの関係

多くの魚によっても、もたらされることが分かっています。川の中に多くの魚がいることは、アユや河川の水産業にとっても、とても大切なことなのです。



(片野 修)



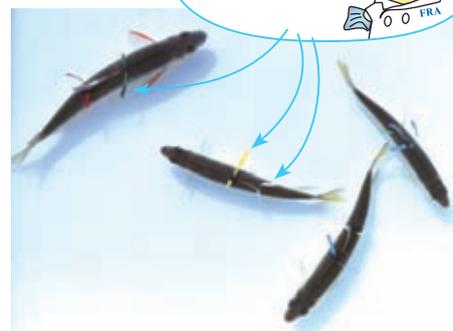
標識って？

魚がどのように行動するのか調査をするために、魚に「標識」という目印をつけて、海や川などに放すことがあります。

この調査で、魚がどのような場所を好むのか、どのようなえさを食べるのかなど、いろいろなことが分かります。

標識に連絡先を書くことがあります。そのような標識をつけた魚を見つけたら、連絡してくださいね。

背中につけている
ヒモみたいなのが
標識なんだって



📷 標識をつけたオイカワ



ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

研究所に遊びに来てね!

水産総合研究センターの研究所では、毎年夏から秋にかけて一般公開しています。研究施設の見学や、体験コーナーで楽しみながらお魚の勉強ができます。ぜひ遊びに来てね。詳しくは研究所のホームページをご覧ください。これ以降に行う一般公開の予定は次号に掲載します。

一般公開のスケジュール

- 7月19日(土) 瀬戸内海区水産研究所 廿日市庁舎 (広島県廿日市市)
ウェブサイト ▶ <http://feis.fra.affrc.go.jp/index.html>
- 7月25日(金) 日本海区水産研究所 宮津庁舎 (京都府宮津市)
ウェブサイト ▶ <http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>
- 7月26日(土) 増養殖研究所 玉城庁舎 (三重県度会郡玉城町)
ウェブサイト ▶ <http://nria.fra.affrc.go.jp/index.html>
- 8月5日(火) 増養殖研究所 日光庁舎 (栃木県日光市)
ウェブサイト ▶ <http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>
- 8月23日(土) 東北区水産研究所 塩釜庁舎 (宮城県塩釜市)
ウェブサイト ▶ <http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>



みんな遊びに来てね!

「さかなと森の観察園」
無料公開デー



日光 さかなと森の観察園だより

※切手の写真：ホザキシモツケ

涼しい森の中でさかなと触れ合おう!

奥日光もようやく半そでで過ごせるようになり、園内の天然林も鮮やかな緑色となって森の散策にはもってこいの季節となりました。「さかなと森の観察園」では池にいる魚にえさをあげたり、魚に直接触れたりすることができます。夏休みの思い出作りにも最適な場所ですよ。ぜひ遊びに来てね。8月5日の一般公開では、普段触ることのできないチョウザメなど巨大魚にも触れるよ。

▶ チョウザメ



◀ 森の中の魚道では、何種類もの魚に会えるよ ▶ 魚にえさをあげよう

さかなと森の観察園

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3
☎ 0288-55-0055

★ 竜頭の滝のすぐ近く!



<http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>



ふーちゃん と



ふっくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.60 (2014年7月発行)

編集・発行：独立行政法人 水産総合研究センター
質問の送り先・お問い合わせ先：広報室

〒220-6115 神奈川県横浜西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真



繁殖期のオイカワのオス
(撮影：増養殖研究所 片野 修)



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。